



海の自然史研究所

Marine Learning Center

あなたの学校・教室・施設を海に変えてみませんか？
あなたの学校・教室・施設で海を学んでみませんか？

特定非営利活動法人 海の自然史研究所は、
海をテーマにした学習をサポートいたします。



海の自然史研究所

Marine Learning Center

海を学ぼう

海は気持ちのいいところです。潮風や波の音は、わたしたちを心穏やかにさせてくれます。暑い季節に海に浸る快感を感じたことがある人も多いと思います。荒れる波の猛々しさから、恐れを感じることもあります。また心に響く何かです。あなたはそんな海が好きですか？ わたしたちは大好きです。そんな海を、ともに学んでみませんか？

地球の4分の3を占める海には、未知の部分がたくさん残されています。そのため、調べるほどに発見がいっぱいあり、人の持つ探究心を刺激してくれます。また、人は、遠い昔から海にさまざまな恩恵を受けて生きてきました。海とともに暮らしてきたこの姿をひも解いてみましょう。きつと、自然とともに生きる心を目覚めさせてくれます。だから海を学んでみましょう。

日本という国は、周りを海で囲まれている島国であり、亜熱帯の暖かい海から冷たい海までさまざまな海の環境に接することができます。海を学ぶには絶好の場所です。この環境を活かして海を学び、探究できる心と力、自然と共生できる心と力を育て、これが海の自然史研究所の求めるところです。

海に学ぼう

海は、人が生きていくとできない世界です。海は、人が及ばない力を持っています。人に畏敬の念を感じさせる自然です。そんな海は、人に自然の厳しさを教え、人の持つ生命力を鍛えてくれます。また、海は大きな包容力もち、優しく包んでもくれます。だから海に学んでみたいのです。

そして海に

そして、なぜか海から遠ざかってしまっている人に海を取り戻し、1人1人が、そして地球上のすべての人が、すこしでも海への意識をもつことで、いつまでも「いまよりも美しく豊潤な海」を求め続けていきたいと考えるのです。

法人設立趣旨

「海を学ぶ」、これが私たちの活動の基本理念です。海を学ぶ主体は、まず私たち自身です。海の環境、生物、そして人との関わりを、「海の自然史」という言葉で包括し、研究活動によってその姿をひも解いて行きます。

海を学ぶもう一つの主体は、社会です。私たちは、研究活動によってひも解かれた「海の自然史」の多様な側面を、「環境教育」、「科学教育」によって社会に伝えます。

私たちは、海の研究者と環境教育の実践者が集まったチームです。各々が専門性に基づいて共に活動することで「研究の現場と教育の現場を連結する仕組み」を構築し、「研究」をより社会価値の形成に直結するものに、「教育」をより科学的根拠に基づくものに変えていきます。そして、海への保全意識と科学的探究心があたりまえのようにある社会、海と人との豊かにつながった社会の形成に貢献します。

20世紀は、経済発展を優先するあまり、自然への十分な配慮が及ばない活動が繰り返され、自然環境が悪化の一途を辿っていました。自然環境の悪化には、様々な背景や諸問題が存在しますが、とりわけ、自然環境に対する理解や適切な知識が不足したまま社会的判断が下されてきた事例が多いことに私たちは問題意識を抱いています。しかし、自然環境を正確に理解することは決して容易なことではありません。新しい研究成果とともに環境に対する理解が日々更新される中で、科学的思考をもちながら、自ら考え判断する力を身につける必要があります。だからこそ、私たちは、研究の現場と教育の現場を今以上に強く結びつけることが必要だと考えました。

「研究」という仕事よりも実社会の共感と理解を得るには、研究者と教育者を含む一般市民がこれまでの常識を超えて社会を接点に深く関わることに必要になります。また、従来の「環境教育」を本来基礎となるべき「科学教育」と繋げ、市民の科学的探究心を育成し、科学的根拠に基づいて環境を理解する力を育成するためにも、やはり教育と研究の専門家がこれまで以上に協働して新たな関係を築く必要があります。私たちの活動は、既存の「研究者」と「教育者」の意識改革を促します。

私たちの活動によって、自然環境への科学的探究心や保全意識を備えた人材や、直面する問題に対して科学的思考を持つて対処することができる人材が輩出されるようになるでしょう。私たちは、自然と人が豊かにつながるための社会の実現のためには、そのような「人」を育てることが最も重要であると考えています。

私たちは、この活動の拠点を沖縄に置きます。亜熱帯性気候と風土、島嶼という地理的特性、世界でも有数の種多様性を誇るサンゴ礁、そして海と共に育まれてきた文化。沖縄は、自然の豊かさと貴重さ、海と人との関わり方の深さの両面から、社会とともに「海を学ぶ」ことを目指すのに最もふさわしい場所だと考えます。

しかし、私たちの活動は、決して沖縄だけにとどまるものではありません。私たちの「海を学ぶ」姿勢は、海と人との共存し、新たな文化を形成していくための「共通思想」となり得るものだと考えています。私たちは、沖縄で産まれたこの「海を学ぶ」活動を、沖縄を起点として「海」で繋がる世界のすべてに向けて発信していきます。

NPO法人海の自然史研究所の事業

私たちは「研究事業」と「教育事業」を二本の柱として事業を行います。この両者を進める中で、「研究」と「教育」の壁を取り払い、「環境教育」に「生きた科学」を取り入れるための新たな活動形態を具現化します。

教育事業

1. ジャパンMAREセンターの運営
 - ・ローレンス科学教育研究所の日本におけるMAREの普及拠点であるセンターとして、MAREの実施・普及を推進
 - ・ガイドブックの翻訳や、日本の環境にあわせた内容の改訂
2. マリノラボキャンブ(Marine Laboratory Camp)の開催
 - ・大学や研究・学術機関が運営する海洋研究施設を使ったサイエンスキャンプの実施
3. 海の科学教育プログラムの企画運営
 - ・海の自然科学・環境教育プログラムの実施
4. 海の人材育成講座の企画運営(サイエンス・コミュニケーターの養成)
 - ・海に関する知識を持ったさまざまな講師による講座の開催
 - ・海を理解し指導者としてそれを伝えられる人材、海の環境教育プログラムを企画し、指導できる人材の育成



研究事業

1. 海の自然史研究
 - a. 海洋生物の種多様性情報(分類情報)の収集・管理
 - ・沖縄近海に生息する海洋生物標本の収集・分類
 - ・多様な生物情報をweb画像データベースとして市民・研究者に公開
 - b. 生態系研究
 - ・海洋生物の生態(生息環境、生活環、食性など)に関する情報収集
 - c. 海の文化誌研究
 - ・地域と海の関り合いの理解を深めるための「海に関わる文化」事例調査
2. 研究支援
 - a. 専門家への研究支援
 - ・生物標本採取や野外調査のための支援が必要な研究者に対する調査コーディネート、標本提供など
 - b. 一般市民への研究支援
 - ・市民が主体となって行う調査に対する専門的なアドバイス、研究成果を公表する場の提供

企画事業

1. 海の自然環境関連調査
2. コンサルティング・企画開発
3. 映像製作
4. 物品の企画販売



特定非営利活動法人海の自然史研究所の活動へのご支援をお願いします！

定款より抜粋

目的

この法人は、海(海)に注ぐ川などの陸水を含む)に関心を寄せる全ての人々に対して、海を学ぶ機会を提供する事業をおこない、科学的思考力を持った人材を育成することで、海への保全意識と科学的探究心を備えた社会、海と人とが豊かにつながった社会の形成に寄与することを目的とします。

事業

- ① 海洋生物・海の自然史に関する研究事業
- ② 海を中心とする自然環境の仕組みを学ぶための教育プログラムの企画運営、ならびにこれに関する教材の企画、制作、販売、貸与及び著作権の管理に関する事業
- ③ 自然環境の題材を生かした地域振興に関する企画事業
- ④ 海とそこに生息する生物等を題材にしたオリジナルグッズの販売事業(ほか)

役員(平成21年4月現在)

代表理事：藤田 喜久
副代表理事：今宮 則子
理事：澤岨 かほる
監事：中野 義勝

所在地(ほか)

住所：〒904-0113 沖縄県中頭郡北谷町宮城2-95
TEL：098-936-2722
FAX：098-936-2746
E-mail：info@marinelearning.org
URL：http://www.marinelearning.org

